

生涯学習事業実践事例集

～公民館・自治振興センターで行う生涯学習事業～
(平成24年度事業)



平成25年8月
庄原市教育委員会
(生涯学習課)

はじめに

庄原市では、平成17年3月31日の市町合併以降、市内21公民館において、公民館事業により生涯学習を推進し、平成19年度からは公民館の自治振興センターへの順次移行に伴い、自治振興センターの指定管理者である自治振興区において、生涯学習事業を推進しています。

この事例集は、各公民館で実施される公民館事業及び各内自治振興センターで実施される生涯学習事業の実践事例を、各公民館、自治振興センターにおいて実施された事業の中から、特徴的な事業や効果の高かった事業を選定し作成いただいたものです。

目次

各施設実践事例書

庄原地域

庄原自治振興センター	【子ども将棋教室】	1
高自治振興センター	【さつまいもづくり活動】	2
本村自治振興センター	【まつたけ山再生事業】	3
峰田自治振興センター	【林家ひろ木さん落語会】	4
敷信自治振興センター	【文化・教養部 合同発表会】	5
東自治振興センター	【ふれあい健康ウォーキング】	6
山内自治振興センター	【土曜日子ども教室】	7
北自治振興センター	【庄原北地区歩く会】	8

西城地域

西城自治振興センター	【比婆山講座】	9
八銚自治振興センター	【やほこふれあいフェスタ】	10

東城地域

東城公民館 ※	【地域力醸成事業（夏休み子ども体験教室）】	11
小奴可の里自治振興センター	【小奴可の里伝統芸能教室】	12
八幡自治振興センター	【八幡飯山登山】	13
田森自治振興センター	【こども神楽塾】	14
帝釈自治振興センター	【帝釈もみじまつり】	15
久代自治振興センター	【久代成人学級視察研修】	16
新坂自治振興センター	【味噌づくり講座】	17

口和地域

口和自治振興センター	【くちわのつどい（元気な地域づくり研修会）】	18
------------	------------------------	----

高野地域

上高自治振興センター	【山菜保存教室】	19
下高自治振興センター	【夏休み「こどもお仕事探検隊」】	20

比和地域

比和自治振興センター	【博物館に親しむ】	21
------------	-----------	----

総領地域

総領自治振興センター	【ヒューマンフェスタ“24”】	22
------------	-----------------	----

※印の公民館は、平成25年4月1日より自治振興センターに移行

各施設連絡先一覧	23
----------	----

事業名	事業テーマ
子ども将棋教室	家庭教育支援・技能習得

事業費
53,371 円（市事業費 51,971 円・参加者負担 1,400 円）

事業の概要
平成 24 年 9 月から平成 25 年 2 月の 6 か月間、月 2 回 第 2・4 の土曜日に教室を開催。

事業の目的

- ・将棋を通して子ども同士の交流を図る。
- ・技能習得を図る。

対象者	参加人数
庄原自治振興区内小学校児童	延べ人数 174 人

開催期間	実施回数
平成 24 年 9 月～平成 25 年 2 月	はじめて教室 12 回・経験者教室 12 回

事業の内容

- ・「はじめて教室」・・・駒の並べ方から、駒の動かし方など初歩から始め実戦へ
- ・「経験者教室」・・・実戦学習でレベルアップ

特徴的な内容
最終回は大会を開く。

成果・課題等
毎年、最終回の大会は子どもたちの真剣な対局が見られた。

写 真



事業名	事業テーマ
さつまいもづくり活動	地域と園児の交流

事業費
18,000 円

事業の概要
保育所の園児と地域住民(馬場地区)の共同作業による“さつまいも”づくり。

事業の目的
地域住民と保育所園児の交流を図る。

対象者	参加人数
高保育所園児及び馬場地区住民	73 人

開催期間	実施回数
平成 24 年 5 月 21 日～10 月 12 日	各作業 1 回

事業の内容
<p>高保育所がある高町馬場地区の畑を利用して、高保育所の園児と馬場地区の住民の方が、さつまいもの植栽・収穫作業を共同で実施し、交流を行った。</p> <p>また、収穫した“さつまいも”のおやつづくりも行い、住民の方を招待した食事会を行い、交流を深めた。</p>

特徴的な内容
<p>高保育所と馬場地区住民とは、運動会などの保育所行事にも住民の方が参加するなど交流を深める活動がされているが、地域的には中山間地域で農業が大きな産業として生活を支えてきた所であり、この活動は農地を活用して次代を担う子どもたちに“土”と“農作物”とのふれあいを楽しみながら体験させられるとともに、住民の方との農作業の共同作業により非日常的交流が深められる活動となっている。</p>

成果・課題等
<p>この活動は、住民の方にも園児との交流により地域の力として活動する意義が感じられ、地域づくりの意識高揚が図られている。</p>

写 真



事業名	事業テーマ
まつたけ山再生事業	地域振興課題と交流会

事業費

244,000 円（市事業費 100,000 円・その他 144,000 円）

事業の概要

まつたけ山再生事業として、京都からまつたけ山復活させ隊を招いて、講演会・交流会を行った。

事業の目的

まつたけ山の整備・里山の整備が、地域課題である地域振興に繋げるための活動。

対象者

本村自治振興区民・その他一般

参加人数

延 130 人

開催期間

平成 24 年 8 月 4 日～5 日

実施回数

1 回

事業の内容

- ・京都のまつたけ山復活させ隊を招いて、吉村先生に『まつたけ山づくり』について講演会・・・約 3 時間
- ・講演会終了後、振興センターの屋外施設とテントを併用して、地域の方とマツタケ山復活させ隊メンバーとの交流会を実施した。講演会では聞けなかった事など教えてもらったり、地域の情報など交換したりして、交流を図った。
- ・まつたけ山づくりの現地指導を受けるため、山に登って、調査・指導を受けた。

特徴的な内容

京都の吉村先生他まつたけ山復活させ隊の方々には、講演をいただき、翌日はまつたけ山の現地調査や指導を受け、まつたけ山再生事業に取り組んだ。

成果・課題等

まつたけ山再生事業ということで、地域の方もとても関心があり、講演会・交流会とも多数参加してもらった。交流会も色々な事が情報交換できて、とても盛り上がり良い交流会となった。次へのステップが難しいため、検討が必要。

写真



吉村文彦先生による
まつたけ山づくり講演会



まつたけ山復活させ
隊メンバーと地域の
方との交流会



まつたけ山に登り、現地調査・指導

事業名	事業テーマ
林家ひろ木さん落語会	教育講演会

事業費
30,000 円

事業の概要
庄原市出身の落語家「林家ひろ木」さんの落語を聞く。

事業の目的
講演会を通して、自治振興区・文化事業・世代間交流を図る。

対象者	参加人数
峰田小学校児童・峰田地区住民	97 人

開催期間	実施回数
平成 24 年 7 月 13 日	1 回

事業の内容
峰田小学校児童・峰田地区住民を対象に落語家「林家ひろ木」さん(林家木久扇さんの 6 番弟子)の落語を聞く。

特徴的な内容
プロの落語を聞くことによって世代間交流を図った。

成果・課題等
テレビやラジオで見たり聞いたりするのではなく、間じかに本物にふれることで、いい勉強になった。 また、地域の人がおられる中で、好きな食べ物を食べる仕草を高座で演じた子ども、質問の時間あり、多くの子どもが質問する姿は学校教育の成果であると感じた。

写 真



事業名	事業テーマ
文化・教養部 合同発表会	生涯学習の集大成

事業費

132,500 円

事業の概要

日々行っている学習の本格的な発表の場をもつことと、個々に活動している同好会が協力して一つの事業を成し遂げる。

事業の目的

- ・生涯学習の成果発表と各同好会間の交流。
- ・文化・教養部と老人部との交流。

対象者

文化・教養部員、老人部健康講座参加者
一般

参加人数

300 名

開催期間

平成 25 年 2 月 24 日

実施回数

1 回

事業の内容

文化・教養部の 15 団体（同好会）が、展示発表・ステージ発表を老人部の健康講座のアトラクション（午後の部）として行った。

特徴的な内容

時間の制約等で、普段地域内で発表の場がない同好会等が十分に発表できたことと、老人部との共催で両部共充実した事業になった。

成果・課題等

大変好評で、老人部等からは、毎年開催して欲しいという要望であったが、事業費等を含む運営面から第 2 回は今のところ未定である。

写真



事業名	事業テーマ
ふれあい健康ウォーキング	世代間交流事業

事業費
25,000 円(報償費 15,000 円・需用費 10,000 円)

事業の概要
東自治振興センター～国営備北丘陵公園までウォーキングを実施。

事業の目的
文化の高度化と社会情勢の多様化により、ややもすると自然と親しむ機会が薄れ心身の鍛錬も欠けやすい今日、全身運動である「歩く」ことによって地域住民のコミュニティづくりと健康増進をめざし、併せてふるさとの自然を再発見する。

対象者	参加人数
東地区区民	115 名

開催期間	実施回数
平成 24 年 4 月 8 日	1 回

事業の内容

- ・東自治振興センター集合・開会行事
- ・出発(熊野口交差点・市道林正線経由)
- ・国営公園到着・レクリエーション
- ・閉会行事

特徴的な内容
年齢に関係なく参加できる。

成果・課題等
豊かな大自然に心をゆだね、日頃の運動不足が解消されたとともに、子どもから高齢者までの一緒に歩くことで交流が図れた。
26 年度では、ウォーキングポールを使って前進の筋力アップを図る予定。

写真



事業名	事業テーマ
土曜子ども教室	家庭教育支援

事業費
110,251 円

事業の概要
毎月 1 回、地域の小学生を対象に絵画・将棋・習字教室を開設する。 (絵画：第 2 土曜日、将棋：第 3 土曜日、習字：第 4 土曜日)

事業の目的
ゆとり教育で毎週土曜日が休日となったことを受け、家庭教育へ支援、地域教育及び土曜日の有効活用を目的とする。

対象者	参加人数
山内小学校児童（保育所・他校からも参加あり）	延べ 188 名（絵画 84 名・習字 67 名・将棋 41 名）

開催期間	実施回数
平成 24 年 5 月～平成 25 年 3 月	各 11 回

事業の内容
山内地区より講師を依頼し、土曜日午後 1 時半から山内自治振興センターにおいて、山内小学校児童を中心に絵画・将棋・習字教室を開設する。

特徴的な内容
絵画・習字においては、様々な作品展への応募、山内ふるさと祭への作品展示をしている。 将棋は、実践練習や詰将棋などで定石を教え、対局も行っている。

成果・課題等
土曜日が有効活用されている。 ・絵画：絵を描くことによって観察力を養う。 ・将棋：将棋を指すことで先を読む力がつく。 以上のこと等で子どもたちへの学習支援ができています。

写真



事業名	事業テーマ
庄原北地区歩く会	健康づくり

事業費
68,000 円（市事業費 30,000 円・参加者負担金 38,000 円）

事業の概要
北地区内はもとより、周辺を歩いて健康づくりと見聞を広めた。

事業の目的
ウォーキングを通して、「①歩いて健康になろう。②見聞を広めよう。③仲間の親睦を深めよう。④人生をより深く、より広く、楽しく、心豊かに過ごそう。」を促進することを目的とする。

対象者	参加人数
北地区民	100 名

開催期間	実施回数
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	8 回

事業の内容
<p>毎月開催（雨天のため中止もあり）</p> <p>地区内や庄原市内、近隣の市町村など歩いて健康づくりと見聞を広めるなど、事業の目的に沿って推進。</p> <p>毎年 10 月の「体育の日」には「北地区一周ウォーキング大会」を開催（平成 24 年で第 8 回目）し約 20 km を歩く。</p> <p>平成 24 年度の主な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営備北丘陵公園（5 月） ・三次市吉舎町（6 月） ・比和町三河内（7 月） ・上帝釈（8 月） ・高野町（9 月） ・庄原市宮内町（3 月） ※ガイド対応が可能なところは依頼。

特徴的な内容
平成 15 年 6 月からスタートし、毎月開催をしている。（1 回当たりの参加者は平均 20 名。最高齢参加者 96 歳）北地区一周ウォーキング大会では、環境衛生部、保健体育部、女性部と連携し実施している。

成果・課題等
<p>毎回、楽しく歩いて健康づくりや親睦が図れ、ふれあいの絆が深まって、ガイドをしていただくことにより見聞をより広めることができている。</p> <p>高齢化に伴い、参加者の減少が懸念される。</p>

写真



事業名	事業テーマ
比婆山講座	市民意識を高めるための講座

事業費
133,400 円（報償費 54,682 円・需用費 818 円・バス借上料 77,900 円）

事業の概要
比婆山の歴史、文化や自然を学習する 4 回講座。

事業の目的
古事記に名を残す比婆山を有する西城町。まずは地元の者が比婆山について知りたいという想いと、古事記編纂 1300 年、国立公園 50 周年を迎えるにあたり、地域資源の活用を地元から起こしたいとの想いから、事業を展開した。

対象者	参加人数
西城町住民、通勤通学者及び比婆山に興味のある人	延べ 114 人

開催期間	実施回数
平成 24 年 7 月 14 日～平成 25 年 3 月 22 日	5 回

事業の内容
<p>第 1 回「講義：比婆山入門」…地元研究者・竹下敦さんを講師に、比婆山の自然や熊野神社、国立公園 50 周年など、比婆山についての基礎知識を学んだ。</p> <p>第 2 回「登山：夏山登山」…熊野神社～立烏帽子山～池の段を歩き、歴史や植物についてレクチャーを受ける。</p> <p>第 3 回「登山：秋山登山」…立烏帽子山～御陵～出雲烏帽子山を歩き、古事記神話の古のスポットを巡った。</p> <p>第 4 回「講義：みんなで語ろう比婆山ばなし」…西城町の比婆山に興味を持つ人でのワークショップ。地元自治会、歴史研究者の講義と、神話の紙芝居、これからの比婆山についての展望を熱く語る会となった。</p> <p>特別編「奥出雲視察」…次年度に企画する「山歩きガイドの育成」の視察のため、奥出雲のボランティアガイドの育成の仕組みを視察。実際の山歩きガイドを見て、西城でのガイドの可能性を考えた。</p>

特徴的な内容
<p>年間を通してのシリーズで、中学生～88 歳までの幅広い参加者があった。</p> <p>HP での広報を行ったため、市外からの参加者もあった。</p> <p>地元の方が講師を務め、座学とフィールドワークを行い、地元の人が知りたい地元の内容を学ぶことができた。</p>

成果・課題等
<p>比婆山講座に多くの方が興味を持たれ、座学では各回約 40 人の参加者があった。</p> <p>最終講座を経て「まずは自分たちが地元・比婆山を知って、次の世代に伝えたい」との意見が生まれ、平成 25 年度生涯学習事業として「比婆山ガイドの会」を結成した。</p> <p>今後、比婆山を地域資源としてどのように活用していくか、また、西城だけではなく、比和・奥出雲などとの連携を図り、比婆山文化圏での活性化も、今後の課題である。</p>



事業名	事業テーマ
やほこ ふれあいフェスタ	生涯学習成果等の発表と講演会の開催

事業費

240,987 円（市事業費 200,737 円・参加者負担金 40,250 円）

事業の概要

生涯学習成果の展示・発表にあわせ、特集品の展示、講演会、及び自治振興区活動の展示等を行う。

事業の目的

八銚自治振興区発足後 2 年間の活動の総まとめの事業として、生涯学習の成果発表をかねるとともに、今後の地域の活性化に資する事業を行う。

対象者

八銚自治振興区区民（地域外の観覧可）

参加人数

260 人

開催期間

平成 25 年 3 月 16 日～17 日

実施回数

1 回

事業の内容

- ・生涯学習成果の展示：生花、タペストリー、プリザーブドフラワー、写真、ちぎり絵、手芸品等
- ・生涯学習成果の発表：和琴、尺八、大正琴、歌（カラオケ）
- ・特集品の展示：昭和初期の、鉄道や機関車等の写真、学校や地域の風景写真、鉄道用品等
- ・講演会：「地域包括医療とケアについて」講師：西城市民病院の郷力院長先生
- ・アトラクション：神楽を 3 演目
- ・昼食は：「旬の料理教室」と「男性料理教室」で「炊き込みご飯」と「豚汁」を作り提供

特徴的な内容

実行委員 30 名（内 60 歳以上 70%）ということで、地域の総力を挙げて取り組んだ。
ハード面は男性、ソフト面は女性を中心に組織づくりを行う等、女性のパワーを借りることに力点を置いた。

成果・課題等

天候にも恵まれ、大変盛大に開催でき、参加者は自治振興区の総世帯数に匹敵する 260 名となった。
このフェスタを成しとげたエネルギーが今後の地域振興に役立つと確信できた。
地域のパワーを勘案し、またマンネリを防止するために、フェスタの開催頻度は 2～3 年に 1 回位とする。

写真



事業名	事業テーマ
小奴可の里伝統芸能教室	地域の伝統芸能を学び、継承する。

事業費
15,000円

事業の概要
盆踊りのくどき4曲の歌と踊りを学ぶ。

事業の目的
地域の伝統芸能を学び、継承する。

対象者	参加人数
小奴可の里自治振興区の住民	60名

開催期間	実施回数
平成24年7月～8月	5回

事業の内容
<p>7月12日：盆踊りの基礎知識の学習と「矢一くどき」「高い山から」の歌の練習</p> <p>7月19日：くどき「矢一くどき」「高い山から」の練習と踊りの練習</p> <p>7月26日：くどき「山崎参三」「白井権八」の練習と踊りの練習</p> <p>8月2日：くどき「山崎参三」「白井権八」の練習と踊りの練習</p> <p>8月9日：くどきの練習と踊りの練習 全曲の復習</p>

特徴的な内容
<p>講師に小奴可地区芸能保存会会長の高尾覚さんをお願いし、盆踊りでよく使われる4曲のくどきと踊りを練習した。</p> <p>CD、テープ、ビデオを利用し、自主練習ができるようにした。また、映像と音声での保存に努めた。</p>

成果・課題等
<p>各自治会の盆踊りで、中心になって踊り、生歌でくどきを歌うなど、教室での練習の成果を披露した。</p> <p>盆踊り以外の伝統芸能の保存と継承にも取り組んでいかなければならない。</p>



事業名	事業テーマ
飯山登山	八幡の宝再発見・健康づくり

事業費
12,200 円（市事業費：7,000 円・参加者負担金 5,200 円）

事業の概要
地元の飯山に登山するとともに、自生する山野草について学習。 飯山山麓の歴史遺産（石碑・お堂など）を訪ねる。

事業の目的
<ul style="list-style-type: none"> ・八幡に眠るお宝再発見と、地区外の人に八幡の良さを知っていただく。 ・山野草の知識を身につける。 ・健康づくり。

対象者	参加人数
不問	44 名

開催期間	実施回数
平成 24 年 5 月 26 日	1 回

事業の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自治振興センターから徒歩で飯山 ・道中講師から山野草の説明を聞きながら登頂し昼食をとり、違うコースで下山 ・地元の人から麓にある石碑、お堂の説明

特徴的な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・山野草の学習 ・歴史遺産の学習

成果・課題等
44 名の参加者のうち、26 名が地区外からの参加があった。 事業として定着させ、参加者を増加させていくかが課題と考える。

写 真



事業名	事業テーマ
こども神楽塾	伝統民俗芸能の伝承

事業費

65,000 円

事業の概要

東城町内の小学生から高校生までの子供たちを対象に、講座を開設。比婆荒神神楽の社中をはじめ比婆荒神神楽後援会が中心になって、指導を行い、地域の民俗芸能の伝承と個性を高める活動を実施。

事業の目的

昭和 54 年に国指定を受けた重要無形民俗文化財の比婆荒神神楽を地域の次代を担う子供たちに伝承・保存することにより地域の活力を高め、支援活動を通じて元気で輝く地域づくりを進める。

対象者

小学生から高校生

参加人数

年間延べ 630 人（男 369 人・女 135 人）

開催期間

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

実施回数

年間 24 回

事業の内容

毎月第 2 土曜日及び第 4 土曜日を開講日とし、主に東城町内に在住する小学生から高校生までを対象にした塾を設置し、地域に古くから伝わる比婆荒神神楽の歴史や舞を学び、指導することにより、祖先が大切に、地域の民俗の基調となっている神楽を伝承する取り組みを進めている。

自治振興区の生涯学習教室として位置づけており、神楽社中や神楽後援会を中心に、地域がこうした活動を支援することにより子どもたちも励まされ、今日を築いた先人の貴重な財産を守り育て、次の世代へ引きついでいくもの。

特徴的な内容

地元の田森保育所では、園児たちが「ちびっこ神楽」として神楽の舞に親しんでおり、その上級版として子供神楽塾があるが、神楽の魅力にひかれ、地元だけでなく近隣の町からも塾生として参加がある。

また、比婆荒神楽社の社中のみならず地元後援会が一体となって指導に当たっている。

成果・課題等

地域に住む子供たちの数が少なくなる中、重要無形民俗文化財としての比婆荒神神楽を理解し、いかに保存伝承する取り組みにつなげていくか、今後の課題である。

一方で、平成 24 年 8 月 18 日東京・日本青年館ホールで開催された第 14 回全国こども民俗芸能大会に出場する機会を得ることができたことは、こうした活動が高く評価されたものであり、子ども達のさらなる飛躍が期待される。

写真



事業名	事業テーマ
地域力醸成事業（夏休み子ども体験教室）	地域力醸成

事業費
153,000 円（報償費 36,000 円・参加負担金 117,000 円）

事業の概要
小学校の夏休み期間に、公民館教室に児童が参加する体験教室を開催。

事業の目的
夏休みを利用して、文化や伝統を伝え、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、世代間の交流を図ることを目的とした体験教室。

対象者	参加人数
小学生	延べ 320 人（小学生 320 人・大人 31 人）

開催期間	実施回数
平成 24 年 8 月 1 日～31 日	12 回

事業の内容
第 1 回「和紙ちぎり絵教室」和紙で花や果物を描く（2 回実施） 第 2 回「陶芸教室」本物の葉を使って皿を作る（3 回実施） 第 3 回「空手教室」礼儀作法と基本を習う 第 4 回「パン料理教室」オランダの手作りパンを作る 第 5 回「ヨーガ教室」呼吸法と体の仕組みと体操 第 6 回「いけ花教室」身近にある花や材料を使って「遊心」をテーマに生ける 第 7 回「老人大学工作教室」木を使って鉛筆立てを作る（2 回実施） 第 8 回「うたごえ広場」ピアノにあわせ歌う

特徴的な内容
夏休みを利用して、子どもたちに公民館の生涯学習教室を体験してもらい、世代間の交流と子供たちに公民館の活動を知ってもらう。

成果・課題等
夏休み子ども体験教室を開催して 10 年以上なるため、夏休みの宿題になる事や色々な体験ができると保護者からも期待されている。 児童クラブとも連携をはかり、参加希望者は増加しているが、その反面教室の指導者は高齢になり人数が減ってきているため、今後の対応の検討が必要。

写真
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

事業名	事業テーマ
帝釈もみじまつり	帝釈地域活性化事業

事業費
308,643 円

事業の概要
地域内外へ帝釈峡をPRし、観光客の入込客を増やす。

事業の目的
地域内外の方々へ、地元の食材を使った食や地元ならではのステージを提供し地域の活性と交流を図る。

対象者	参加人数
全地域一般	来場者 2,500 人

開催期間	実施回数
平成 24 年 11 月 4 日	1 回

事業の内容
ステージ ・ こども神楽 ・ 楽団演奏 ・ 杵餅つき実演 テント村 ・ 地元の食材を使った食の提供 ・ 地元特産品の販売

特徴的な内容
毎年、八幡保育所のこども神楽を上演しているが、大変好評である。 地元の食材を使った食は大変人気があり、川魚の塩焼き、マツタケうどんやコウタケご飯、手打ちそば、いのしし肉の串焼きなど、帝釈ならではの食が特に人気である。

成果・課題等
リピーターも多く好評であるが、天候に左右される事業であるため食数の把握が難しく、食数が少なく早くに店じまいしなければならないテントが出る。 キノコ類など自然の食材が手に入らない年があり、安定提供ができない場合がある。

写 真



事業名	事業テーマ
久代成人学級視察研修	他の先進地域に学ぼう

事業費
127,925 円（市事業費 74,925 円・参加者負担金 53,000 円）

事業の概要
他の先進地域を訪れ知識を深める。

事業の目的
久代地域の住民の知的財産を高める。

対象者	参加人数
久代住民（一般）	13 名

開催期間	実施回数
平成 24 年 11 月 28 日	1 回

事業の内容
岡山県備前市へ先進地域に出かけ知識を高める為の研修を行なった。 竹久夢二の夢二郷土美術館・夢二の生家・備前焼技法が応用された旧閑谷学校の瓦・備前市の歴史民資料館への視察研修。

特徴的な内容
他の地域に出かけ色々な見聞を深める。 年に 1～2 回は久代住民が山から出かけて心豊かになる事を心掛ける研修を組んでいる。

成果・課題等
近くに日本を代表する大正浪漫を描く画家がいる事又優れた文化財があることに興味を持ちそれを生かし知的財産を身に着ける研修が出来た。 地元に戻られても研修内容の話などされている様子である。 参加者が固定してきている。 知的財産に関する考えがまだ低く感じられる。

写真

旧閑谷学校・竹久夢二郷土美術館・夢二郷土美術館前



事業名	事業テーマ
味噌づくり講座	手づくり味噌の知識・技術の伝承

事業費
73,983 円

事業の概要
地域に古くから伝わる手づくり味噌の知識・技術を身につけるための講座。

事業の目的
新坂地域の伝統食の保存と継承をするために欠かせない手づくり味噌を普及するとともに、郷土料理の普及拡大を図る。

対象者	参加人数
一般住民	22 人

開催期間	実施回数
平成 25 年 1 月 22 日～2 月 12 日	2 回

事業の内容
<p>第 1 回の講座では、味噌の種類、味噌製造の工程、大豆の処理、味噌材料の配合割合、仕込み方法について座学方式により味噌づくりの基礎知識を学んだ。</p> <p>第 2 回の講座では、大豆を蒸してつぶしたのち、麴の配合から仕込みを終了する一連の工程を各自で実技を行い、味噌造りの技術を身につけた。</p>

特徴的な内容
郷土料理研究家の講師による、徹底した基礎知識を得るための座学による学習と、実技指導による技術の習得に努めたこと。

成果・課題等
急激な社会構造の変化による核家族化と少子高齢化社会の進行により、伝統食・民俗行事等の継承ができにくい現状の中、本講座を開講したことにより手づくり味噌の知識・技術を身につけた人が地域に増加し、地域伝統食の継承等の面で大きな成果が生まれた。なお、大豆等の原材料の獲保に苦慮する点が課題である。



事業名	事業テーマ
くちわのつどい（元気な地域づくり研修会）	ふるさとの地域福祉を考える

事業費
50,000 円（消耗品等 20,000 円・報償費 30,000 円）

事業の概要
地域福祉にまつわる活動の実践報告会を開催。

事業の目的
自分が住んでいる口和町を大切に思い、住んでいてよかったと感じられる、また子ども達が誇れる、もっと素敵な「ふるさと」となるために、今自分で出来ること、地域で出来ることをみんなで考える。

対象者	参加人数
口和住民など	100 人

開催期間	実施回数
平成 25 年 3 月 2 日	1 回

事業の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・「実践報告」 地元中学生・デイホーム担当者・1 ターンで農業に従事されている方が、「心」をテーマに、それぞれの活動を発表。 ・「バザーコーナー」 地域の調理グループが、地元産品を使った料理を販売。 手打ちそば、こんにやく、かきもち、チーズ、手作りパン、ケーキ、アイスなど ・元気の種まきコーナー 元気な口和町になるための提案アンケート

特徴的な内容
口和自治振興区（自治組織）・口和支所（行政）・社会福祉協議会口和地域センター（福祉団体）が連携して、地域住民と一体となり取り組むことで、地域福祉を多面的に自分たちの課題として考える事業

成果・課題等
地域の方々に、地元で頑張っている人々の活動を伝える事で、自分たちの古里の未来について考えることができた。

写真



「安心生活創造事業」
第4回

くちわのつどい

口和を大切に思っていますか？住んでいてよかったと感じていますか？子ども達が誇れるふるさとを創ろう！
私たちの口和がもっと素敵になるために、命をかけて出来ること、地域で出来ることをみんなで考えよう！

実践報告

「伝える心」
庄原市立口和中学校
石田成美さん
(2年生)

「心をつなぐデイホーム」
口和自治振興区
高橋秀樹さん
(事務局長)

「安心と夢を求めて」
口和地域センター
福元紀生さん・奈津さん
(口和町連水)

バザーコーナー
手作りパン・手打ちそば・ケーキなどなど
口和の笑顔と笑顔で物で、お楽しみください！

元気の種まきコーナー
みんなの願いがアイディアで
元気な口和の花を咲かせよう！

平成 25 年 3 月 2 日 (土) 10:00 ~ 12:00
庄原市口和自治振興センター (広島県庄原市口和町向原 934-4)
開催い合わせ先 庄原市社会福祉協議会口和地域センター (電話 0824-89-2320)

主催 口和自治振興区 庄原市各町和支所 庄原市社会福祉協議会口和地域センター
後援 口和地区民生委員協議会 口和地区老人クラブ連合会

事業名	事業テーマ
山菜保存教室	食文化の伝承

事業費
20,069 円

事業の概要
昔ながらの山菜の保存方法の伝承。

事業の目的
昨年の、「おばあちゃん秘伝昔ながらの煮しめをつくろう会」で使用した保存された山菜の作り方が、習いたいとの要望から、今回、山菜の保存方法を地域のおばあちゃんに教わる。

対象者	参加人数
高野地域住民	13 人

開催期間	実施回数
平成 24 年 5 月 26 日	1 回

事業の内容
<p>高野地域に伝わる食文化の伝承を目的に、山菜の保存方法を教わる。</p> <p>今回は、煮しめの材料となる「わらび」「ふき」「たけのこ」の保存方法を、山菜加工をしておられる地域の方に教わる。</p> <p>「わらび」は塩漬けと乾燥の二通り、他は塩漬けと素材の下ごしらえの方法、山菜と塩の比率などを教わった。</p>

特徴的な内容
<p>教わる内容は、「色が変わる程度」「気持ち柔らかくなる程度」などと感覚的な表現なので、教わりたい一心の受講者の質問で熱心な講座となった。</p> <p>山菜の旬は毎年少しずつ違うので、講座の開催日を事前に決定するのが難しく、講師の方との打ち合わせが直前になり、地域の方への周知は前日無線放送で依頼した。</p>

成果・課題等
山菜の保存方法を教わるとともに、そのほか日常生活の知恵も教わり、とてもよいコミュニケーションの場となっている。

写 真



事業名	事業テーマ
夏休み「こどもお仕事探検隊」	すごいなー・・・おとなの仕事現場!! (都会の会社の仕事の現場を見学)

事業費
100,682 円

事業の概要
<ul style="list-style-type: none"> 子どもと保護者の夏休みの思い出づくりとして、庄原市から離れた地域の「仕事現場」を探検(見学)する。 見学先：広島市「広島三越」「デオデオ本店」、廿日市市「中国新聞印刷局」「チチヤス廿日市工場」

事業の目的
山間地の子供に、都会の仕事の現場を視てもらい、大人が力強く一生懸命働く姿から仕事の大切さを理解してもらおうと同時に流通業や生産工場の職場への興味づけと思い出(印象作り)を狙う。

対象者	参加人数
庄原市内の市民(子供主体・保護者も参加)	20 名

開催期間	実施回数
平成 24 年 8 月 8 日	1 回

事業の内容
<ul style="list-style-type: none"> 下高自治振興区生涯学習部主催の「こどもお仕事探検隊」の隊員を募集。 行程：高野支所前出発(7:30)～廿日市市/チチヤス乳業～中国新聞(印刷工場)～広島市/広島三越(昼食)～デオデオ本店～新市着(18:00) 参加費 大人・中学生 1,050 円・小学生 850 円 「昼食代・保険料」

特徴的な内容
<p>都会の仕事場を見学。各会社の協力をいただき、仕事探検を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場の仕事見学：「チチヤス乳業」(試食もあるよ!)・「中国新聞」(夕刊の印刷) 販売の仕事見学：「広島三越百貨店」(お昼を食べます)・大型電気店の「デオデオ本店」

成果・課題等
<p>参加者(子ども)に大好評の事業(庄原市から都会に出る楽しさ。華やかな広島三越・デオデオ本店販売の現場。いつも読む中国新聞の印刷前の色校・念校風景と印刷風景。ヨーグルトの工場の商品が出来るまでと試食)であった。また、広島市内では、原爆ドームや平和公園も訪問し平和教育も行えた。</p> <p>広島三越の広報担当課長も、こどもお仕事探検隊の趣旨を恭悦され、店内売り場担当者を決めそれぞれの売り場を案内、また庄原市の商品の販売場所のデパ地下も案内説明される。三越全体の会議でも Up Report された。</p>

写 真



お仕事探検隊「チチヤス工場・中国新聞」探検風景(上-チチヤス、下-中国新聞見学記念)



お仕事探検隊「広島三越」探検風景(上-ギフト用品売り場、下-産品売り場)

事業名	事業テーマ
博物館に親しむ	子どもに博物館に関心を持たせる事業

事業費

40,000 円（市事業費 35,400 円・参加者負担金 4,600 円）

事業の概要

比和自然科学博物館地学分館や周辺施設を使って博物館を身近に感じる事業を実施した。

事業の目的

平成 24 年 7 月に比和自然科学博物館地学分館がオープンしたのをきっかけに、子どもたちに博物館に関心をもたせ、調べる力、考える力をつける。

対象者

主として小学生

参加人数

39 名

開催期間

平成 24 年 7 月～8 月

実施回数

3 回

事業の内容

- ・化石教室
人数の都合で 2 回に分けて開催した。
比和自然科学博物館地学分館の収蔵資料を利用して、化石について学習した。
- ・勾玉づくりと火おこし体験
実際に滑石を使って勾玉を作った。また、道具を使い火おこしに挑戦した。

特徴的な内容

地域の資源である博物館を利用して学習することで、地元の宝に目を向ける姿勢を養う。
課題に対して、自分なりに考え、実行する力を身に着ける。

成果・課題等

積極的に、化石学習や火おこしに取り組んだ。
自分なりに次の課題をみつけてほしかったが、与えられるものを学習して、終わった。
将来、博物館を支える人材が育ってほしい。

写真



化石教室の様子



勾玉づくり



火おこし中

事業名	事業テーマ
ヒューマンフェスタ “24”	「一人ひとりが自分らしく暮らせる ^{まち} 地域へ」

事業費
105,034円（市事業費60,034円・協賛金：45,000円）

事業の概要
地域の子どもから、一般住民及び各種団体の参加により、講演会・ステージ発表・各種展示やバザーを開催。

事業の目的
<p>多くの人々が幸せでありたいと願っている。</p> <p>家族が、地域が、人々が、幸せになるため、人権・福祉について考える。また、私たちの身の周りにどのような人権問題が起こっているのか考える。</p>

対象者	参加人数
地域住民及び各種団体	120人

開催期間	実施回数
平成24年11月25日	1回

事業の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・講演会：「地域づくりと人づくり」講師：辻駒健二さん ・文化協会会員によるステージ発表 ・各種展示：総領保育所（絵）総領小学校（人権の花図画・人権標語）総領中学校及び一般（人権標語） ・各自治会によるバザー

特徴的な内容
<p>地元子ども神楽団を上演した。</p> <p>手話教室による本の読み聞かせを実施した。</p> <p>保育所、小学校、中学校、一般による図画や人権標語を展示した。</p>

成果・課題等
<p>以前は、行政が主催で開催していたが、今回、各種団体が実行委員として参加し、総領自治振興区が主幹として8年ぶりに開催。</p> <p>保育所、小学校、中学校、一般のパネル展示や、ステージ発表や、地元自治会の出店があり、多くの参加者があった。</p>

写 真



連絡先一覧

地域	施設名	郵便番号	住所	電話番号 (内線)	Eメールアドレス
庄原	庄原 自治振興センター	727-0013	庄原市西本町2-17-15	72-3777	shobara-ziti@peace.ocn.ne.jp
	高 自治振興センター	729-5811	庄原市高町821-4	72-0935 (3050)	taka.jichi.ss@gmail.com
	本村 自治振興センター	727-0623	庄原市本村町1234-1	78-2743 (3060)	hon.jichi@gmail.com
	峰田 自治振興センター	727-0622	庄原市峰田町1445-2	78-2849 (3070)	mineta.jichi@gmail.com
	敷信 自治振興センター	727-0014	庄原市板橋町203-6	72-0571 (3080)	shinou.jichi@gmail.com
	東 自治振興センター	727-0023	庄原市七塚町11-2	72-2854 (3090)	higashi.jichi@gmail.com
	山内 自治振興センター	729-6131	庄原市山内町813-4	74-0451 (3100)	yamanouchi.jichi@gmail.com
	北 自治振興センター	727-0203	庄原市川北町154-3	72-0564 (3110)	kita.jichi.ss@gmail.com
西城	西城 自治振興センター	729-5722	庄原市西城町大佐734	82-2175 (3810)	saijyo.jichi@gmail.com
	八銚 自治振興センター	729-5601	庄原市西城町小鳥原615-1	84-2363 (3820)	yahoko.jichi@u-broad.jp
東城	東城 自治振興センター	729-5121	庄原市東城町川東1188-2	2-0487 (2466)	tojyo@aoros.ocn.ne.jp
	小奴可自治振興センター	729-5502	庄原市東城町内堀1100-1	5-0057 (3310)	onuka@vesta.ocn.ne.jp
	八幡 自治振興センター	729-5456	庄原市東城町森2668-2	4-0205 (3320)	yawata@vesta.ocn.ne.jp
	田森 自治振興センター	729-5127	庄原市東城町栗田1715-1	2-0661 (3330)	tamori@vesta.ocn.ne.jp
	帝釈 自治振興センター	729-5244	庄原市東城町帝釈未渡2021	6-0055 (3340)	taishaku@vesta.ocn.ne.jp
	久代 自治振興センター	729-5122	庄原市東城町久代2105-1	2-0148 (3350)	kusiro@vesta.ocn.ne.jp
	新坂 自治振興センター	729-5132	庄原市東城町三坂330	2-2252 (3360)	shinsaka@vesta.ocn.ne.jp
口和	口和 自治振興センター	728-0502	庄原市口和町向泉934-4	87-2213 (3620)	kuchiwajichi@gmail.com
高野	上高 自治振興センター	727-0402	庄原市高野町新市1283	86-2214 (3900)	kamitaka.zichi@gmail.com
	下高 自治振興センター	727-0423	庄原市高野町下門田8	86-2679 (3910)	simotaka8@gmail.com
比和	比和 自治振興センター	727-0301	庄原市比和町比和1119-1	85-2600 (3701)	hiwa.jichi@gmail.com
総領	総領 自治振興センター	729-3703	庄原市総領町下領家278	88-3067 (3502)	soryojichi67@yahoo.co.jp

市外局番 0824 (東城地域 08477)

生涯学習事業実践事例集

～公民館・自治振興センターで行う生涯学習事業～ (平成 24 年度)

平成 25 年 8 月発行



庄原市教育委員会 生涯学習課社会教育係

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電話: 0824-73-1188 e-mail: syogai-syakai@city.shobara.hiroshima.jp